

毎月11日は

防災を**考**える日

令和元年6月号



「大雨・台風のと看、どのような災害が!？」

■台風や前線による大雨の影響

日本では、季節の変わり目に前線が停滞し、しばしば大雨を降らせてます。これからのシーズンは日本に接近・上陸する台風も多く現れ、大雨や洪水、暴風、高潮などをもたらします。また、大雨は、川の氾濫や土砂崩れなどの災害を発生させる恐れがあります。

- ・台風や大雨接近のニュースや気象情報を見聞きしたら、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- ・雨が降り出したら土砂災害警戒情報などにも注意しましょう。
- ・日頃から防災マップで危険箇所や避難場所をチェックしましょう。
- ・避難所までの道順を確認しておきましょう。



〔「大雨・台風では、どのような災害が起こるのか」(首相官邸ホームページ)を加工して作成〕

■防災基礎クイズ

Q. 地震で家具が倒れることを考え、寝室の家具は寝ている人ではなく、なるべく出入り口のほうへ向かって倒れるように工夫して置くべきである。○か×か？

毎月11日は「防災を考える日」です。

震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

■問い合わせ先／気仙沼市総務部危機管理課防災情報係

☎:0226-22-3402 FAX:0226-22-1467 E-mail:kikikanri@kesenuma.miyagi.jp

(※お問い合わせの際は、お電話の受付時間内におかけください。)